

深圳レポート

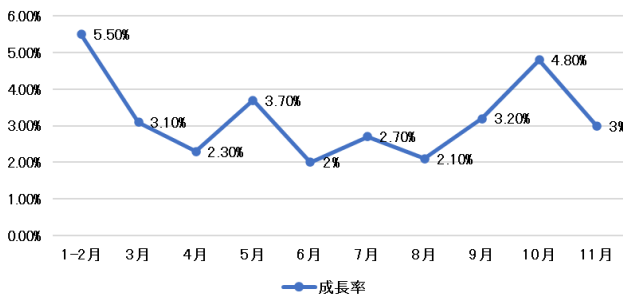
2024年の中国、政策による内需拡大を振り返り

2024年、中国経済は内需主導の新たな局面を迎えた。世界経済の不確実性の高まり、海外における需要の成長鈍化を背景に、中国政府は減税・費用削減、買い替え促進政策、預金準備率や利率の引き下げ、不動産関連政策など、供給側から需要側へと経済構造をシフトさせ、国内消費の潜在力を解放することを目指した。

経済指標の改善

政策の推進により、中国の消費市場は徐々に回復を見せた。2024年第1～第3四半期のGDP成長率は4.8%に達し、そのうち消費の経済成長への寄与率は49.9%に達した。これは内需が経済成長の主役であり続けていることを示している。2024年1月から11月の社会消費品小売総額の成長率は概ね3.5%前後で推移しており、コロナ禍前の8%には未だ及ばないものの、サービス関連消費は比較的早い回復を見せた。特に中国の飲食業収入は5.02兆人民元で、前年比5.7%増加した。

2024年の社会消費品小売総額の前年比成長率(%)



政策の推進

減税・費用削減の実施

2024年においても減税・費用削減政策は深化し、住民と企業のコスト負担を大幅に軽減、さらに市場主体の活力を引き出した。特に中小企業を対象に税制優遇政策を拡大し、付加価値税率を引き下げた。国家税務総局のデータによると、

2024年1月から11月の間に民間企業が享受した新たな減税・費用削減および税還付額は1兆元に達し、税金還付総額の71.3%を占めた。個人所得税の特別控除基準も改善され、子供の教育費や親の介護費用に対する控除がさらに拡大された。この結果、2024年1月から8月までの全国の個人所得税収は前年比5.2%減少し、住民と企業の可処分資金が増えたことで、消費能力を高めるとともに、企業の革新や生産拡大を強力に支援した。

預金準備率・利率引き下げと不動産政策の多角的推進

2024年には預金準備率の2度の引き下げと預金・貸出基準金利の3度の引き下げが実施された。これにより企業の資金調達コストが低下し、住民の住宅ローン負担が軽減された。住宅ローン金利は2024年初の4.2%から2025年には3.3%に低下し、月々の返済額が大幅に減少したことで、家計の消費および投資余力が向上した。不動産分野では、深センにおける2024年11月の新築住宅契約件数が8,076件で46か月ぶりの最高を記録し、中古住宅の移転件数は7,125件で50か月ぶりの高値となり、同月の住宅販売件数は合計で15,000件を超えた。

政策面だけではなく、消費全体の活性化にはさらに精密な刺激政策が必要とされる。2024年第3四半期に開始された新たな買い替え促進政策の影響で、住宅関連の消費が回復し、例えばリフォームやキッチン・バス用品の売上がそれぞれ15%および22%増加した。さらに、自動車や家電分野が消費市場の主要な成長分野として強い牽引効果を示した。

買い替え促進:家電から自動車までの全面的な推進

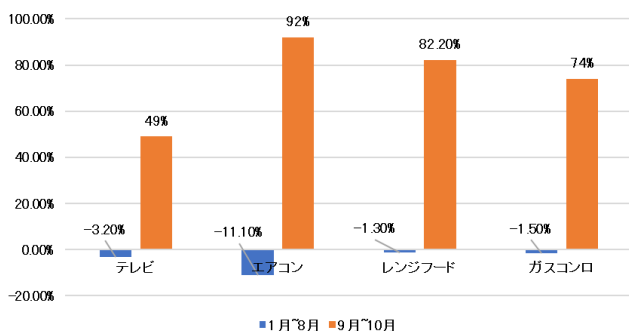
自動車から家電、さらには住宅リフォームまで、各地政府は補助金政策を導入し、買い替え促進政策と併せて消費券を発行した。例えば、北京や上海では家電消費券の使用率が95%に達し、小売売上上の急速な増加を直接促進した。

自動車分野: 新エネルギー車が政策支援の中心となり、補助金額は1万元から2万元に引き上げられた。購買補助金により、2024年の乗用車販売台数は520万台を突破し、前年比30%増加した。河北省や江蘇省などでは、旧式のガソリン車から新エネルギー車への買い替えキャンペーンが多くの消費者を引き付けた。

家電分野: 買い替え促進により高効率製品の販売が刺激され、スマートエアコンや薄型冷蔵庫が新たな人気商品となった。データによると、2024年8月26日から12月29日までの期間において、オンライン家電小売売上は前年比25%増加し、オフラインではさらに高い66.5%の増加を記録した。

2024年9月から新たな買い替え促進政策

異なる品目の実店舗の月別小売総額の前年比変化



大型商品は使用寿命が長く、経済低迷の影響下で消費者が購入に慎重になる傾向が見られた。しかし、今回の政策による優遇措置により、消費者の心理的負担が軽減され、潜在的な消費需要が解放された。

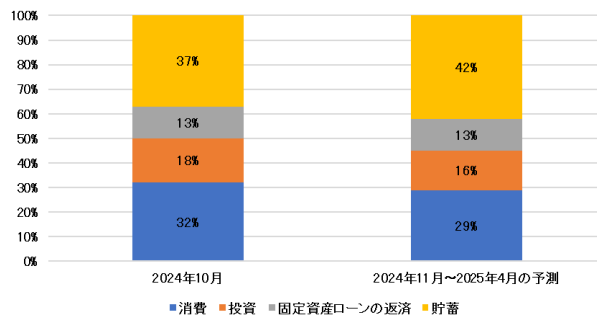
商務部のデータによると、2024年12月19日時点で、3,330万人以上の消費者が家電の買い替え促進政策を通じて、5,210万台以上の商品を購入した。買い替え促進政策は2024年の消費拡大における重要なハイライトとなった。また、多くの企業が補助政策に積極的に協力した。例えば、ハイアール社は、国家政策に基づく最大20%の補助金に加えて、多様なセット購入割引を提供し、消費者を引き付けた。

消費者心理と行動の変化

2024年9月には、預金準備率引き下げ、株式市場支援、住宅ローン利率引き下げなど、三つの有益な政策が次々と打ち出された。これらの政策の影響で、消費者の信頼感は徐々に回復したが、貯蓄志向は依然として強い。調査によると、収入が増加したと答えた消費者の割合は28%に上昇したものの、貯蓄が全支出の42%を占め、将来の収入に対する不確実性

が依然として存在している。

支出構造の変化(%)



消費行動の特徴: 実利的で慎重な「精密消費」

政策や経済動向の影響で、消費行動は非常に合理的になった。多くの消費者は製品のコスパを重視し、盲目的な消費を控えるようになった。一方で、家電や自動車分野での買い替え促進政策が主な消費の原動力となった。

消費者のニーズは明確化し、健康促進や自己啓発を満たす製品への関心が高まった。子供の教育や成人向け教育の消費は前年比20%以上の成長を見せ、45歳以上の成熟層が教育訓練に積極的に参加している。この動向はシニア教育市場の成長も促進している。また、健康志向が高まり、有機食品の消費が16%増加した。

2025年: 中国市場の新たな可能性を掘り起こす

中国は現在、社会消費品小売総額で世界第2位を占めており、アメリカに次ぐ地位にある。その差は小さく、経済と社会の発展が進む中で、中国のサービス消費分野は総量や一人当たりの水準でアメリカに徐々に接近することが予測される。

政策面では、中国は近年、サービス産業の開放を積極的に推進している。例えば、外国資本による独資銀行や保険会社の設立を許可し、多くの地域で外国資本による独資病院の設立も計画されている。

将来的には、医療、教育、金融、体験型エンターテインメントなどのサービス産業が経済成長の主要な推進力になる見込みであり、今後10年で急速に拡大すると予想されている。国内需要の不足という課題は依然として存在しているものの、中国の巨大な消費市場と柔軟な政策調整能力は、経済回復の重要な原動力となっている。

PIX Moving: スケートボードシャーシ技術に特化

社名	貴州翰凱斯智能技术有限公司	英語名	PIX Moving		
代表者	喻川	URL	https://www.pixmoving.com/		
所在地	貴州省貴陽市白雲区科創北路長通智能製造産業園 3 号工場				
売上(RMB)	—	従業員(人)	—	創業年	2017年
登録資本金	272.003 万人民币元				
サービス内容	自動運転対応のスケートボードシャーシ技術および車両の開発・製造				

スケートボードシャーシ技術は現代のモビリティとスマート車両分野における重要な革新として、多くの企業が研究・開発・製造に注力している技術である。貴州省貴陽市に本社を置く貴州翰凱斯智能技术有限公司(以下、「PIX」)は、このスケートボードシャーシ技術と柔軟な製造技術に特化したスマート交通企業である。同社はモジュール設計、3Dプリント技術、AIを核とし、車両の製造と応用モデルを再定義し、スマート交通分野における多様化する需要に応えることを目指している。

コア技術と能力

スケートボードシャーシ技術

PIXのコア技術はスケートボードシャーシにある。従来型の車両シャーシとは異なり、バッテリー、駆動システム、サスペンション、制動機能をモジュール化し、1つの平面に統合している。

スケートボードシャーシは高い柔軟性を持ち、ソフトウェアを介してハンドル角やサスペンションの高さなどの性能パラメータを調整できる。このモジュール設計により、同一シャーシで多様な車両をサポート可能であり、従来の機械部品への依存を減らし、メンテナンスおよび運用コストを削減している。

3Dプリントと非金型製造

PIXは3Dプリント技術を幅広く活用し、車両の金属部品や装飾パーツを直接製造している。従来の製造方法では、設計から量産までに2~4億人民元の金型コストと数年の開発期間が必要とされるが、PIXでは9~12か月で量産可能な製品を開発し、金型関連のコストを大幅に削減している。

ソフトウェア定義とAI

PIXのスケートボードシャーシはソフトウェア定義アーキテクチャを採用しており、サスペンションの硬さやブレーキ強度といった各パラメータをデジタルで調整できる。また、AIによる感情認識や音声対話機能を搭載し、運転支援や個別化サービスを提供している。

商業モデルと応用シナリオ

PIXのスケートボードシャーシはモジュール化設計を特徴としており、無人運転や商用車分野において幅広い応用が可能である。無人運転において、「ラストワンマイル」配送や短距離輸送といったシナリオに特化した物流配送車、パトロール巡回

車、清掃車両などが開発されている。また、このモジュール設計により、都市内物流やカスタマイズタクシーなどの特殊用途車両の開発が可能となり、生産ラインの大規模な改造を必要とせず、迅速な対応が可能である。

分散型工場配置とカスタマイズ製造

PIXは分散型製造モデルを採用し、効率的な小型工場ネットワーク(PIX C-Zone)を構築している。これにより、モジュール化されたロボット作業ステーションを活用して車両をデジタル生産している。

また、顧客のデザインニーズを満たすためにPAM(PIX AI-Algorithm Modeling)プラットフォームを開発した。顧客がこのプラットフォーム上で車両の外観と構造設計を行い、直接生産工法ファイルを生成できるため、設計効率を高めつつ技術的ハードルを低下させている。さらに、ハッカソン(一定期間内に集中的にソフトウェア開発を行うイベント)などを通じて技術コミュニティと協力し、スケートボードシャーシの機能開発と最適化を推進している。

資金調達と市場展開投資

PIXは2024年12月30日、浙商創投股份有限公司主導でB1ラウンド資金調達を完了し、無人バス量産や市場拡大に活用予定である。2022年7月にはTIS株式会社がA1ラウンドに独占的戦略投資者として参加した。

2024年12月23日、PIXはTISおよびHOT沖縄総合研究所と協力し、無人小売車「Robo-Shop」を沖縄で導入し、観光客向け無人販売サービスを提供している。同時に無人バス「Robobus」の活用も計画され、11月に深セン蓮花山公園で試乗イベントを実施した。

現時点で、PIXは累計20以上の車種を開発し、Autodesk、Italdesign、福龍馬集団股份公司、上海追勢科技有限公司などの世界400社以上と提携しており、受注総額は数億元に達している。同社は2025年にヨーロッパで量産型車両「Robo-NEV」(金属3Dプリントの小型EV)を発売し、国際的な影響力をさらに拡大する計画である。同社が市場の高い期待に応えられるかどうか注目されている。

有名人による「年越しスピーチ」

新年の法定休日は元旦の1日のみで、旧正月のような本格的な年末年始の雰囲気は少ないものの、新年を迎えるにあたって各地でカウントダウンのイベントが開催されました。

近年、中国の年越しのイベントとしては、日本の紅白歌合戦のような音楽番組以外に、有名人による「年越しスピーチ」が注目を集めています。主に人気のエコノミスト・経済評論家・有名企業の社長達によるスピーチのライブ配信です。さまざまなトピックを取り上げながら、過ぎ去った1年を振り返り、未来に対する展望、困難に立ち向かう意欲をかき立てるような構成となっています。また、普段公の場で長いスピーチをしない有名人が、年越しのタイミングで個人的な抱負や見解などを外部に披露するのは珍しいことなので、視聴者達も楽しみにしています。

華やかなゲスト出演も、華麗な舞台セッティングもなく、PPTのみを投影して演説するスピーチ番組が人気になっているのは、情報があふれる時代にあって、注目する分野における最先端の動向を知り、視野を広げることができるだけでなく、新たな価値観を得て、現代の「不確実性」に対する答えを見つけないという欲求が根底にあるかも知れません。

特に、近年の中国における知識経済の発展と相まって、年越しスピーチは生放送やソーシャルメディアを通じて影響力を拡大する一方、実は企画・進行・広報などの一連の構成が明確な商業ブランディングも視野に入れた仕組みになっているのが興味深い一面です。

毎年、有名人の年越しスピーチが終わるとすぐに、スピーチデータがオンラインでアップロードされます。また、各種メディアによる解釈や要約もソーシャルメディアで共有されます。

インパクトがあるテーマも多く、インスピレーションを与える事例や人を惹きつける話し方によるコンテンツは、年越しの瞬間だ

唯来企業管理諮詢（深圳）有限公司
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



けでなく、時間が経っても内なる興味が刺激され、学びたいという意欲が掻き立てられます。また、講演者及び講演者が代表するグループのブランドイメージも1年を通じて好感度がアップします。

ちなみに、毎年数多い講演者の中でも圧倒的な人気を得ているLuo Zhenyu（羅振宇）(トークショーの司会者・企業家)氏が2024年12月31日に杭州で「時間の友達」という年越しスピーチの中で「未来からのグッドニュース」というタイトルで、2025年に対する期待を語っていました。また、中国の総合家電メーカーであるXiaomiのCEO Lei Jun（雷軍）氏は、新しく進出した自動車分野でのシェア拡大戦略のほか、2025年にはフィットネスジムに100回以上通うことも宣言しています。

2025年の新年は、たくさんのグッドニュースが舞い込んで来る1年になることを願います。



2025年年越しスピーチ「時間の友達」公式アカウントにより



深圳未来创新服务中心
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区粤海街道海天二路 19 号盈峰中心ビル 2301
TEL:86-135-3089-3085
<https://micsz.jp/>